

1 設置目的

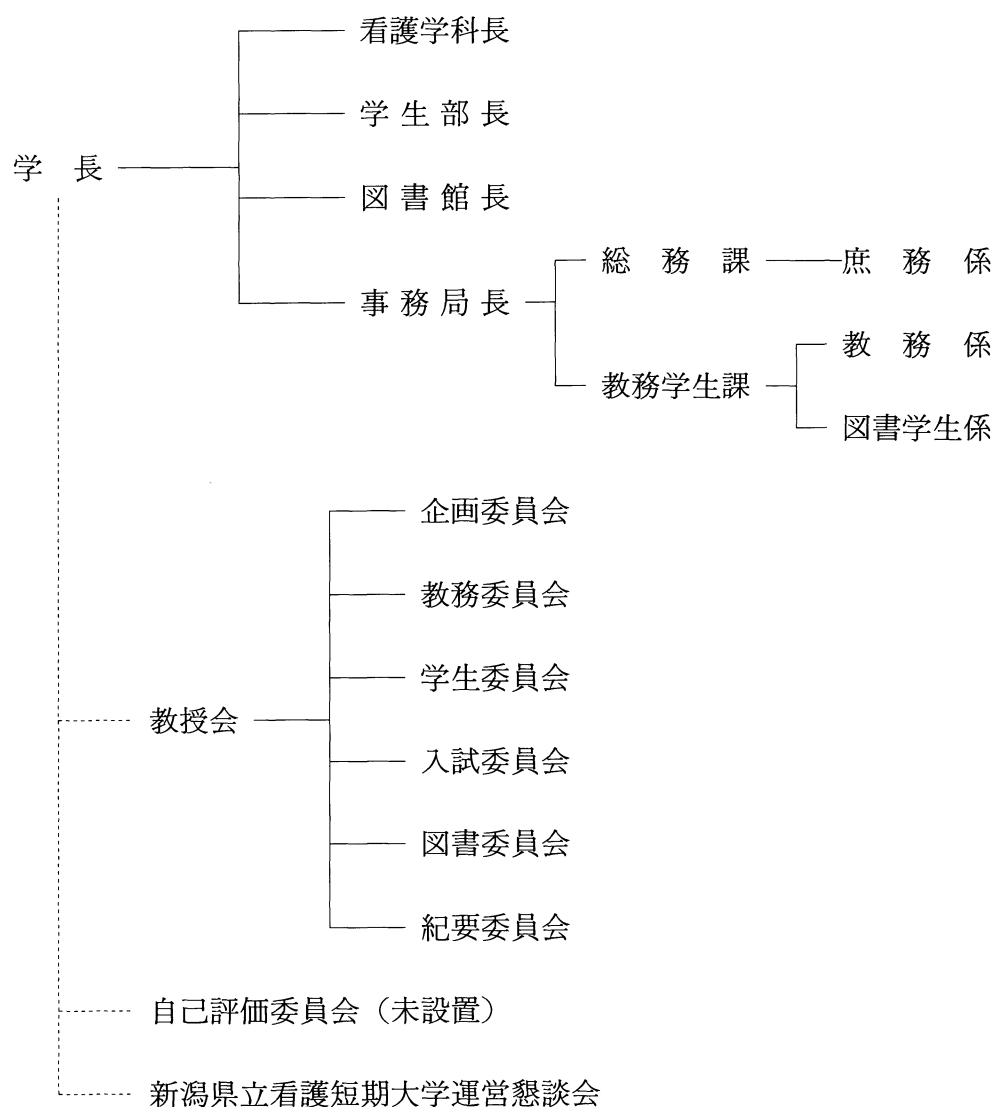
本学は、看護に関する高度な知識及び技術を教授研究し、人間性豊かで、かつ新しい看護ニーズに対応した指導的役割の果たせる人材を育成するとともに、県内の看護関係者に対して研修及び情報提供機能を果たすことにより、本県の保健医療水準の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 沿革

- 平成2年 6月 「大学等高等教育の推進に関する懇談会」看護系短期大学設置検討意見
- 1 2月 「看護職員確保対策協議会」養成力強化のため、県立短大設置要望「県立看護系短期大学設立検討委員会」設置
- 平成3年 3月 県立看護系短期大学設立検討委員会「県立看護系短期大学（仮称）設置基本構想」を作成
- 4月 県環境保健部総務課県立看護短期大学設立準備室を設置
- 5月 県立看護短期大学「上越市設置、平成6年4月開学」知事決定
- 7月 「県立看護短期大学設立準備委員会」発足
- 1 1月 「県立看護短期大学基本構想・基本計画」作成
- 平成4年 4月 県立看護短期大学設立準備室組織強化
用地の買収開始
- 5月 基本・実施設計完了
- 1 0月 校舎建設工事着工
- 平成5年 4月 県立看護短期大学設立準備室組織強化
短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出
- 9月 看護婦養成学校指定申請書を文部大臣に提出
- 1 2月 文部大臣より短期大学設置認可
- 平成6年 1月 文部大臣より看護婦養成学校指定
校舎建設工事完了
- 4月 新潟県立看護短期大学開学
第1回入学式挙行
- 5月 開学記念式典挙行
- 平成7年 3月 シンボルマーク制定
- 5月 第1回戴帽式挙行
- 平成8年 3月 校歌制定
- 1 2月 専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）設置届受理
保健婦学校及び助産婦学校指定
- 平成9年 3月 第1回卒業式挙行

3 大学組織

(1) 大学運営機構



(2) 教職員の状況

① 教員、職員数

ア 専任教員

(平成9年3月現在)

担 当	学 長	教 授	助 教 授	講 師	助 手	計
基 礎 科 目		1 人	1 人	1 人		3 人
専 門 基 礎 科 目	1 人	1 人	1 人			3 人
専 門 科 目		6 人	3 人	7 人	12 人	28 人
計	1 人	8 人	5 人	8 人	12 人	34 人

イ 非常勤講師

(平成9年3月現在)

担 当	所 属
基 礎 科 目 12人	上越教育大学10人、その他2人
専 門 基 礎 科 目 27人	上越教育大学2人、県立女子短期大学1人 新潟大学医療技術短期大学1人 県立病院11人、他の病院3人 保健所3人、開業医4人、その他2人
専 門 科 目 3人	上越教育大学1人、他の病院2人
計 42人	

ウ 事務局

(平成9年3月現在)

	局 長	課 長	係 長	主 任	主 事	嘱託員等	計
事 務 局	1人						1人
総 務 課		1人	1人	1人	2人	1人	6人
教務学生課		(1人)	2人	2人	1人 司書1人	3人	9人
計	1人	1人	3人	3人	4人	4人	16人

※ () は兼務、総務課係長は副参事

② 専任教員名簿

(平成9年3月現在)

職 名	氏 名	主 要 担 当 科 目
学 長	斎 藤 秀 晃	医 学 概 論 II 看 護 学 特 論
看護学科長	桑 野 タイ子	看 護 学 概 論 小 児 看 護 学 概 論
教 授	村 山 ヒサエ	母 性 看 護 学 概 論 母 性 保 健
〃	加 藤 光 寶	臨 床 看 護 学 総 論 成 人 看 護 学 概 論
〃	小 野 澤 康 子	臨 床 看 護 学 総 論 成 人 保 健
〃	田 中 キミ子	看 護 管 理 学 II 成 人 臨 床 看 護 学
〃	川 崎 佳代子	助 産 学 概 論 地 域 母 子 保 健 学

職 名	氏 名	主 要 担 当 科 目
教 授	杉 田 収	生 化 学 ・ 化 学 統 計 学
〃	中 野 正 春	解 剖 生 理 学 病 態 学 III
助 教 授	佐々木 美佐子	地 域 看 護 学 実 習 基 礎 看 護 学 実 習
〃	長 野 勝	精 神 臨 床 看 護 学 精 神 臨 床 看 護 学 健
〃	関 谷 伸 一	生 解 剖 物 生 理 学 生 解 剖 物 生 理 学
〃	水 戸 美 津 子	老 人 看 護 学 概 論 老 人 臨 床 看 護 学
〃	山 本 誠 一	心 臨 床 心 理 学 心 臨 床 心 理 学
講 師	小 林 ミチ子	成 人 臨 床 看 護 学 I 成 人 臨 床 看 護 学 実 習
〃	金 子 史 代	成 人 臨 床 看 護 学 III 成 基 礎 看 護 技 術 演 習
〃	秋 山 啓 子	小 児 臨 床 保 護 学 小 児 臨 床 看 護 学
〃	中 村 博 生	英 語 I ・ II ・ III
〃	松 永 保 子	基 礎 看 護 技 術 演 習 基 礎 看 護 技 術 演 習
〃	山 田 洋 子	成 人 臨 床 看 護 学 IV 成 人 臨 床 看 護 学 実 習
〃	水 口 陽 子	基 礎 看 護 技 術 演 習 基 礎 看 護 技 術 演 習
〃	村 山 陵 子	母 性 臨 床 看 護 学 母 性 臨 床 看 護 学 実 習
助 手	島 村 澄 江	基 礎 看 護 学 実 習
〃	渡 邊 繁 子	基 礎 看 護 学 実 習
〃	渡 邊 典 子	基 礎 看 護 学 実 習
〃	山 田 正 実	基 礎 看 護 学 実 習
〃	井 口 ひ と み	基 礎 看 護 学 実 習
〃	飯 吉 令 枝	基 礎 看 護 学 実 習
〃	大 久 保 明 子	基 礎 看 護 学 実 習
〃	宮 越 幸 代	基 礎 看 護 学 実 習
〃	西 脇 洋 子	基 礎 看 護 学 実 習

職 名	氏 名	主 要 担 当 科 目
助 手	石 澤 信 人	基 礎 看 護 学 実 習
〃	武 田 美 津 代	基 礎 看 護 学 実 習
〃	山 際 和 子	基 礎 看 護 学 実 習

③ 非常勤講師名簿

(平成9年3月現在)

氏 名	担 当 科 目	所 属 等
藤 澤 郁 夫	哲 学	上越教育大学教育学部教授
澁 谷 久	科 学 史	上越教育大学教育学部教授
下 西 善三郎	文 学	上越教育大学教育学部助教授
葛 西 賢 太	社 会 学	上越教育大学教育学部助手
神 成 嘉 光	法 学	上越教育大学教育学部教授
若 井 彌 一	教 育 学	上越教育大学教育学部教授
中 島 大 住	文 化 人 類 学	
長 尾 悟	国 際 関 係 論	東洋学園大学人文学部教授
西 山 保 子	物 理 学	上越教育大学教育学部助教授
前 川 幸 雄	中 国 語 I ・ II	上越教育大学教育学部教授
砥 堀 雅 信	保健体育（講義）	上越教育大学教育学部教授
太 田 昌 秀	保健体育（実技）	上越教育大学教育学部教授
立屋敷 かおる	栄 養 学	上越教育大学教育学部助教授
古 川 素 子	臨 床 栄 養 学	
山 口 正 俊	薬 理 学	県立柿崎病院薬剤部長
重 野 直 也	微 生 物 学	新潟大学医療技術短期大学部教授
高 野 諭	病 態 学 I	県立中央病院内科部長
丸 山 雄一郎	病 態 学 I	県立中央病院内科部長

氏 名	担 当 科 目	所 属 等
小 林 理	病 態 学 I	県立中央病院内科部長
佐 藤 健比呂	病 態 学 I	県立中央病院内科医長
土 田 正	病 態 学 II	県立中央病院診療部長
五十嵐 良 一	病 態 学 II	県立中央病院皮膚科部長
阿 部 惇	病 態 学 II	県立中央病院診療部長
植 木 淳 一	病 態 学 II	県立中央病院内科医長
吉 岡 光 明	病 態 学 III	吉岡内科クリニック
太 田 昭 弘	病 態 学 IV	県立中央病院眼科医長
安 田 誠 夫	病 態 学 IV	安田耳鼻咽喉科医院
佐 藤 昭 雄	病 態 学 IV	佐藤歯科医院
武 内 廣 盛	精 神 病 態 学	国立療養所犀潟病院精神科医長
丸 橋 敏 宏	生 殖 病 態 学	県立中央病院産婦人科部長
林 三樹夫	小 児 期 病 態 学	小児科はやしクリニック
川 室 優	老 年 期 病 態 学	常心荘川室病院理事長
松 井 一 光	公 衆 衛 生 学	新潟県柏崎保健所所長
荒 川 浩 和	関 係 法 規	新潟県にしき園園長
大 村 紘 一	関 係 法 規	新潟県上越保健所所長
西 脇 京 子	関 係 法 規	新潟県糸魚川保健所所長
櫻 井 慶 一	社会福祉原理・制度	県立新潟女子短期大学生活科学科教授
山 崎 岐 男	放 射 線 医 学	厚生連村上総合病院健診センター長
川 島 章 弘	情報科学概論・演習	上越教育大学教育学部教授
林 茂 信	精 神 保 健	国立療養所犀潟病院院長
村 川 英 三	看 護 学 特 論 III	県立中央病院院長
浅 倉 有 子	看 護 学 特 論 IV	上越教育大学教育学部助教授

④ 事務職員名簿

(平成9年3月現在)

配 置	職 名	氏 名
事 務 局	事 務 局 長	大 関 敏 夫
総 務 課	総務課長兼教務学生課長	齋 藤 照 義
	副 参 事 (庶 務 係 長)	田 中 紀 夫
	主 任	渡 辺 克 一
	主 事	齋 藤 敏 和
	〃	中 村 美 和 子
	嘱 託 員	石 橋 広 子
教 務 学 生 課	教 務 係 長	池 田 正 直
	主 任	鈴 木 登 美 子
	主 事	品 田 健 吉
	嘱 託 員	関 根 加 代 子
	図 書 学 生 係 長	寺 崎 茂
	主 任	樋 口 芳 子
	司 書	吉 原 貴 子
	嘱 託 員	高 寺 尚 武
	〃	富 沢 宏

⑤ 教職員の転出入一覧表

(転入者)

職 名	氏 名	前 所 属	年 月 日
講 師	小 林 美代子	長岡看護専門学校	9. 4. 1
〃	矢 坂 陽 子	糸 魚 川 保 健 所	〃
〃	小 林 恵 子	公衆衛生看護学校	〃
〃	平 澤 則 子	長 岡 保 健 所	〃
〃	渡 辺 弘 之	ホ ー チ ミ ン 国 家 人 文 社 会 科 学 大 学	〃
助 手	井 上 正 美	新潟市立市民病院	〃
〃	古 川 亮 子	北 里 大 学 病 院	〃
〃	今 井 智 子	上 越 保 健 所	〃

職 名	氏 名	前 所 属	年 月 日
総 務 課 長 兼 教 務 学 生 課 長	田 中 俊 雄	糸 魚 川 保 健 所	9. 4. 1
副 参 事 (庶 務 係 長)	新 保 春 樹	上 越 財 務 事 務 所	〃
図 書 学 生 係 長	中 島 恒 光	上 越 農 政 事 務 所	〃
主 事	本 間 徹	県 立 柿 崎 病 院	〃
〃	渡 部 靖 彦	上 越 農 政 事 務 所	〃

(転出者)

職 名	氏 名	転 出 先	年 月 日
看 護 学 科 長	桑 野 タイ子	新 潟 県 退 職	9. 3. 31
講 師	松 永 保 子	〃 山 形 県 立 保 健 医 療 短 期 大 学	〃 9. 4. 1
総 務 課 長 兼 教 務 学 生 課 長	齋 藤 照 義	上 越 労 政 事 務 所	9. 4. 1
副 参 事 (庶 務 係 長)	田 中 紀 夫	上 越 財 務 事 務 所	〃
図 書 学 生 係 長	寺 崎 茂	県 立 中 央 病 院	〃
主 事	斎 藤 敏 和	上 越 土 木 事 務 所	〃
〃	品 田 健 吉	長 岡 保 健 所	〃

4 施設の概要

・施設面積	40,083 m ²		
・建物面積	鉄筋コンクリート造3階建	校舎棟	8,781 m ²
		体育館棟	1,323 m ²
		計	10,104 m ²

(主な施設)

管理研究棟	学長室、事務局、研究室29、看護学実験室、会議室3、学生食堂
図書館棟	図書館(6万冊所蔵可能)、LL教室(ブース56台) 情報科学教室(パソコン52台)
教育棟	講義室8、合同講義室2、実習室6、実験室2、演習室4
体育館棟	体育館(講堂兼用)、サークル室5、心理相談室(心理学準備室兼用)
グラウンド	200mトラック、ソフトボール場、テニスコート2面
駐車場	第1、第2駐車場(170台駐車可能)

5 予算の状況(8年度当初)

(単位：千円)

事業名		予算額	事業名	予算額
教職員給与費		406,226	教育研究費	27,744
維持管理費		53,738	非常勤講師報酬等	14,617
運営費	運営費	32,362	公開講座事業費	115
	各種会議開催費	71	実習指導者養成委託費	1,955
	各種団体負担金	360	教員派遣事業費	1,177
事務費	入学試験費	3,111	共同研究事業費	3,800
	図書館費	9,485	臨床実習指導費	4,859
	設備充実費	12,127	専攻科設置準備費	99,371
			合 計	671,118

6 主要行事

(1) 学年暦

学 期	事 項	日 程
前 期	入 学 式	4 月 5 日 (金)
	前期授業開始	4 月 8 日 (月)
	健 康 診 断	4 月 8 日 (月)
	在校生ガイダンス	4 月 8 日 (月)
	入学生ガイダンス	4 月 9 日 (火) ~ 4 月 10 日 (水)
	開 学 記 念 日	5 月 8 日 (水) 休 講
	戴 帽 式	5 月 10 日 (金) 休 講
	夏 季 休 業	7 月 11 日 (木) ~ 8 月 31 日 (土)
	前 期 試 験	9 月 17 日 (火) ~ 9 月 27 日 (金)
	補 講	9 月 30 日 (月)
後 期	後期授業開始	10 月 1 日 (火)
	大 学 祭	11 月 23 日 (土)
	冬 季 休 業	12 月 21 日 (土) ~ 1 月 10 日 (金)
	後 期 試 験	1 月 30 日 (木) ~ 2 月 10 日 (月)
	補 講	2 月 12 日 (水) ~ 3 月 19 日 (水)
	卒 業 式	3 月 14 日 (金)
	春 季 休 業	3 月 21 日 (金) ~ 3 月 31 日 (月)

(2) 主要行事等の概要

① 入学式

第3期生100人を迎える入学式が、小川副知事を始め塩谷新潟県看護協会長ほか多くの来賓の出席をいただき、4月5日（金）午前11時から本学の体育館で挙行された。

② 戴帽式

5月10日（金）に、宮越上越市長、県立中央病院長ほか実習施設の方々を来賓に迎え、本学として第2回目の戴帽式が体育館で行われた。

看護学科長から戴帽生（2年生）1人1人にキャッピングが行われ、看護の灯を引き継いだキャンドルを胸にステージ前に並び、自分達で考えた「誓いの言葉」を全員で述べた後、斎藤学長の式辞や来賓の祝辞を受けた。

式終了後、体育館で教員や先輩を交えて祝賀会が行われ、看護学生としての節目を祝った。

〈誓いの言葉〉

私たちはここにお集まりの皆様の前で
いつも病める人々の立場に立ち
細やかな心使いと思いやりを持って
看護していくことを誓います。

私たちはこれからの看護職を志す者として
新しい時代に対応できる
幅広い看護の知識と技術を身につけます。

私たちは21世紀の看護を担う一員として
本学の学生であることを誇りとして
自分に奢ることなく看護を学び続けます。

③ 運営懇談会

開学後3回目の運営懇談会が平成8年11月21日に行われ、本学側からの概要説明後、ア 高校から看護短大への要望、イ 看護職員の現況と看護短大への要望、ウ 医療現場が求める看護職員、エ 大学公開の推進、オ 大学図書館の運営のあり方、カ 学生の厚生補導、キ 学生の自主活動の指導・育成、ク 学生に対する進路指導及び就職情報の提供、のテーマで意見交換を行った。

④ 卒業式

開学後、記念すべき第1期生96人を送り出す卒業式が平山知事を始め宮越上越市長、松元新潟県医師会長、塩谷新潟県看護協会会長、実習施設代表の村川県立中央病院長の祝辞や多くの来賓の出席をいただき、3月14日（金）午前10時から本学の体育館で厳粛な雰囲気の中で挙行された。

卒業生の将来を祝福するかのように天候にも恵まれ、卒業生の面持ちも緊張の中にも希望に満ちていた。

また、看護短大初めての卒業式ということで多くの報道関係者も取材に訪れ、県内の新聞、テレビ等で報道された。

7 教 育

(1) 教育目標とカリキュラムの概要

本学の教育は、生命への畏敬の念をもつことと人権尊重を基本理念とし、科学性・合理性と豊かな人間性及び柔軟な感性をもつ看護の専門家を育成することを目的とする。カリキュラムは広い視野と柔軟な感性で看護の対象に対応できる能力、進歩発展する医療技術に対応できる基礎的な看護実践力及び看護学の発展や看護技術の向上に貢献できる研究能力の基礎を養い、更に保健・医療・福祉チームの一員として関連職種と連携し協調して看護の役割を果たす能力を育てることを目標とし構成されている。

カリキュラムは大別すると基礎科目と専門基礎科目及び専門科目からなる。基礎科目及び専門基礎科目の多くは、1年次及び2年次で開講し、看護の対象となる人間を生物学的・心理学的・社会学的側面から理解することと、専門科目につながる基礎的知識を教授する。

専門科目は、基礎看護学、成人看護学、老人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学ならびに地域看護学があり、それぞれの科目には臨床実習科目が加わっている。専門科目は3年間にわたって開講するが、1学年から2学年前期まで及び3学年後期は主に講義、演習で教授し、2学年後期から3学年前期では病院・施設・保健所・保育所・地域で臨床実習を行う。

また、情報処理技術の習得を図るため、コンピューター操作のオリエンテーションを入学時に行い各科目のレポート作成に活用し、更に統計学、情報科学概論及び演習、看護過程演習などの科目で積極的にコンピューターを使用する。

(2) 臨床実習教育について

臨床実習科目は、看護教育カリキュラムにおいて重要な科目であり、知識と実践を統合する科目である。臨床の場での体験学習によって科学的な思考や判断能力を養い、看護基礎技術を習得させ自主的・創造的な学習能力を啓発する。

1期生の臨床実習教育を始めるに際し、臨床実習プロジェクトを組織し、実習要項を作成し実習指導方法を検討するとともに、実習施設との連絡調整などを行った。

なお、実習環境整備の一環として、開学1年前から主たる実習施設の看護基準の作成に参加するとともに、院内教育に教員を派遣するなど努めた。

8 学生に関する状況

(1) 在籍学生数（県内、県外別）

（平成9年3月現在）

	県内	県外	合計
1年	76人	23人	99人
2年	77人	19人	96人
3年	7人	20人	97人
合計	230人	62人	292人

(2) 入学試験の状況

① 看護学科一般試験（募集人員 70人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成7年度	総数	474	402	103	70
	県内	301	265	67	51 (2)
	県外	173	137	36	19
平成8年度	総数	645	548	110	70
	県内	355	314	61	46 (1)
	県外	290	234	49	24
平成9年度	総数	250	199	81	70
	県内	125	106	43	43
	県外	125	93	38	27 (1)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

② 看護学科推薦入試（募集人員 30人 県内高校の3年生のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
7年 度	115	114	30	30 (1)
8年 度	99	97	30	30 (1)
9年 度	89	89	30	30

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

③ 専攻科地域看護学専攻一般試験（募集人員 23人）

年 度		応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数
平成 9 年 度	総 数	107	95	24	23
	県 内	49	49	10	11
	県 外	58	46	14	12

④ 専攻科地域看護学専攻推薦入試（募集人員 22人 県内のみ）

年 度		応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数
9 年 度		47	47	22	22 (1)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

⑤ 専攻科助産学専攻一般試験（募集人員 8人）

年 度		応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数
平成 9 年 度	総 数	37	32	8	8
	県 内	25	24	4	4
	県 外	12	8	4	4

⑥ 専攻科助産学専攻推薦入試（募集人員 7人 県内のみ）

年 度		応 募 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数
9 年 度		23	20	7	7

(3) 奨学金等の貸与の状況

（平成9年3月現在）

日 本 育 英 会			新潟県奨学金	新潟県看護職員修学資金	他県
一 種		二 種	県教育委員会 月額32,000円	県福祉保健部福祉保健課 特別 月額 32,000円 一般 “ 16,000円	富山県 山形県
自宅生	自宅外生	自宅外生			
8人	52人	14人	5人	57人	8人

(4) 心理相談（学生相談）

95年4月より学生相談の一部門として、心理カウンセリングなど本学学生への心理的援助サービスを目的とした心理相談部門が設置された。それに伴い「心理相談室」（兼心理学準備室）が設けられ、本学教員（山本助教授）が心理相談担当として、カウンセリングや心理判定などの心理相談業務にあたることになり、97年で3年目に入る。毎週特定曜日、1日5回セッション（1セッション約50分）の予約制という原則のもとで行われており、青年期アイデンティティの問題や不安・学習意欲減退などの心理相談で利用され効果をあげている。

9 図 書 館

(1) 概要

① 図書館の整備方針

本学の教育活動方針は、1)看護に関する高度な知識と技術の教授・研究 2)人間性豊かで、指導的役割の果たせる人材の育成 3)県内の看護関係者への研修と情報提供である。

図書館はこの方針に沿い、看護・福祉に関する新しい知識と技術を掲載した雑誌・図書の整備を第1とした。医学関連国内雑誌はCD-ROMにより、新しい情報を広く収集しているが、看護系の国内雑誌・外国雑誌も同様にCD-ROMから情報収集したい。次に看護学の関連分野である医学、自然科学、統計学等に関する図書、また人間性を育てる一般教養書を整備した。収集できない雑誌・図書は県立図書館、他大学・短大図書館との図書相互貸借協定を利用している。また、学術情報センターを活用し、オンラインで情報の収集を行っている。本学図書館の所蔵能力は6万冊で、いわば小型の専門図書館である。従って図書の重複はできるだけ避け、最新情報を常に取り込み続けたい。

図書館機能は、1)学習支援 2)研究支援 3)地域における看護・福祉関係者等への情報提供である。学習支援では、ビデオ、LD、CD、カセットテープ等による映像・音声教材を整備した。また、研究支援は、インターネットを介した文献検索システムの充実と、他図書館からの文献複写を早く入手するために、また電子的情報資料の増加のために、電子図書館的機能を早急に整えたい。

地域の看護・福祉関係者等の図書館の利用については、一定の手続きを経れば館外貸し出しを含めて、本学学生に準じた利用を許可している。また学外者を含む図書館利用者の利便性を考慮し、土曜日の開館時間の延長と日曜日開館を実現したい。

② 情報検索の効率化

図書、資料等の不足を補うため、次の機器・文献検索システム等を整備している。

- ・ 学術情報センターとのオンライン文献検索 N A C S I S - I R
- ・ 県立図書館とのオンライン書誌情報の検索
- ・ 県図書館協議会加盟各図書館との相互貸借協定の締結
- ・ 各種 C D - R O M による検索

③ コンピュータの導入

多様化する図書館利用への要求に対応するため、次に掲げる図書館業務のコンピュータ化を導入している。

- ・ 貸出原簿 ・ 利用者登録 ・ 蔵書管理 ・ 図書検索 ・ 原簿、目録の印刷
- ・ 統計処理

④ 開館延長時間の実施

本学の授業時間の配置及び学外実習後の利用を考慮し、利用者の利便性を高めるため、図書館の通常の開館時間を延長する必要があった。平成7年度は、試験的に実施したが、平成8年度から図書館の開館時間を次のとおりとした。

月曜日から金曜日（大学の休業日を除く） 9：00～19：30

土曜日 （祝祭日と大学の休業日を除く） 9：30～16：30

(2) 蔵書構成

区 分	蔵 書 冊 数	雑 誌 種 数	視聴覚資料点数
総 記	4 8 4	3	0
哲 学	9 2 2	1	3 4
歴 史	4 8 7	1	4
社 会 科 学	3, 0 0 6	4	4 7
自 然 科 学	1 3, 3 1 5	1 2 3	4 6 9
技 術	3 5 2	2	2 1
産 業	7 9	0	0
芸 術	6 6 5	3	1 3 9
言 語	1, 0 5 0	1	4
文 学	1, 2 9 1	2	1 3
計	2 1, 6 5 1	1 4 0	7 3 1
内 訳	和書 1 9, 7 2 8	日本語 1 2 0	
	洋書 1, 9 2 3	外国語 2 1	

(3) 図書館利用サービス状況

入 館 者 数		5 2, 1 7 2 人（うち学外利用者数 6 0 2 人）	
館外貸出	学 生	4, 4 6 9 人	7, 8 0 6 冊
	教職員・その他	7 2 5 人	1, 6 9 6 冊
	計	5, 1 9 4 人	9, 5 0 2 冊
視 聴 覚 資 料		6 6 3 人	7 2 2 点

その他

① 文献検索 CD-ROM検索 5 1 件
 NACSIS-IR代行検索 1 8 件

② 相互貸借業務 他館への依頼 2 2 9 件
 “ からの受付 2 6 件

10 教員の研究・研修活動

(1) 研究業績

① 論文

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	雑誌名・巻・頁	年	* 所 属
女性の冷え症の実態と冷房使用・食生活の関係—年代的特徴を中心に—	* <u>定方美恵子</u> <u>村山ヒサエ</u> ほか	新潟大学医療技術短期大学部紀要 6(1), 47-57	1997	新大医技短
I V H患者の看護過程において判断に活用した情報の検討	<u>小野沢康子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 2, 67-78	1997	
高齢者の入院時不安の検討	<u>田中キミ子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 2, 95-101	1997	
骨粗鬆症と食生活に関する研究—若い頃の食生活との関連を中心に—	* <u>戸村成男</u> <u>田中キミ子</u> ほか	Osteoporosis Japan 4(3), 36-40 Life Science Publishing	1996	筑波大社会医学系医科学研究科
骨粗鬆症と食生活, ビタミン受容体(VDR)遺伝子多型との関連	* <u>細川美和</u> <u>田中キミ子</u> ほか	日本公衆衛生雑誌 43(8), 606-613	1996	山梨医大医看護学科
Role of pulse wave velocity for assessing autonomic nervous system activities in reference to heart rate variability	* <u>M. Okada</u> <u>O. Sugita</u> et al.,	Med. Inform. 21, 81-90	1996	新大医 検査診断学
Endothelial cell damage: the effects of mechanical forces produced by flow division	* <u>M. Okada</u> <u>O. Sugita</u> et al.,	Cell. Eng. 4, 183-187	1996	新大医 検査診断学
保健所・市町村保健婦の母子保健業務に関する職場内教育の実態調査—卒後1-3年目の新任保健婦を中心に—	* <u>大野絢子</u> <u>佐々木美佐子</u> ほか	日本公衆衛生看護教育研究会誌 7(1)	1997	群大医保健学科
保健婦基礎教育における母子保健指導の教育内容案	<u>佐々木美佐子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 2, 87-94	1997	
青年期の自己実現(個性化)志向に関する不安(その2)—「見捨てられ不安」と「呑み込まれ不安」の視点による検討—	<u>山本誠一</u>	新潟県立看護短期大学紀要 2, 39-46	1997	
基礎看護技術演習における体験学習の検討—患者役体験を中心に—	<u>金子史代</u> <u>島村澄江</u> <u>渡邊典子</u> <u>桑野タイ子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 2, 19-26	1997	
英語特有の音声と音声変化の指導とその効果	<u>中村博生</u>	新潟県立看護短期大学紀要 2, 33-37	1997	
皮膚血流の研究—冷刺激による血流変動のpattern—	<u>松永保子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 2, 79-85	1997	

看護学生の自我同一性に関する研究—職業的同一性形成における因子構造と影響因子—	* 森田敏子 松永保子ほか	岐阜大学医療技術短期大学部紀要 3, 1-13	1996	岐阜大医技短
「高齢者の性」に関する研究(2) 高齢者の性に関する研究の動向と課題	島村澄江 秋山啓子 水戸美津子 桑原洋子 渡邊典子	新潟県立看護短期大学紀要 2, 3-18	1997	
血液透析患者における高血清アルミニウム値とその原因	飯吉令枝 杉田収 佐々木美佐子 ほか	新潟県立看護短期大学紀要 2, 27-31	1997	
在宅要介護者の社会的サポートの効果とQOLに関する研究—第1報—	飯吉令枝 佐々木美佐子 桑野タイ子 小野沢康子 水戸美津子 金子史代	新潟県立看護短期大学紀要 2, 59-65	1997	
看護学生の重症心身障害児(者)実習における達成動機(やる気)の質的検討	宮越幸代 山本誠一 秋山啓子	新潟県立看護短期大学紀要 2, 103-113	1997	
“老人観”に関する研究の問題	桑原洋子 水戸美津子 飯吉令枝	新潟県立看護短期大学紀要 2, 47-58	1997	

② 著書

(本学教員は下線表示)

書 名	監 修 ・ 編 集 著者名	分担執筆の題名	出版社 分担執筆の頁	地名	年
看護観察のキーポイントシリーズ [改訂版] 整形外科	宮崎和子監, <u>加藤光寶</u> 編・ほか著	1 看護観察総論 C 経過における観察 D 退院時観察 E 高齢者患者の看護観察 2 観察上の基礎知識 5 主要症状別観察 7 疾患別看護の要点 A-c 変形性頸椎症 C-e 骨盤骨折 E 悪性腫瘍 F 脊髄損傷	中央法規出版 18-20 21-22 23-24 27-41 79-86 136-142 194-199 261-270 271-283	東京	1996
	<u>村山陵子</u>	4 手術から離床までの観察 D 手術後の観察 7 疾患別看護の要点 A-a 筋性斜頸 A-b 頸椎後縦靱帯骨化症	69-76 125-129 130-135		

		A-d 頸椎椎間板ヘルニア C-a 腰椎椎間板ヘルニア C-b 脊柱側弯症	143-145 173-178 179-183		
看護・介護者を腰痛から守る患者移動の基礎と技術 The guide to the handling of patients	加藤光寶監訳・ほか翻訳 小林ミチ子	5章 援助の危険性の評価 8章 患者の自立の促進 9章 看護婦の姿勢と動作 10章 基本的な移動介助用具 16章 転倒する患者と転倒した患者 17章 特別な患者のニーズ 18章 緊急時の患者移動技術と避難方法 付録 ダイナミックスタンダード セッティングシステム	日本看護協会出版会 41-47 69-70 71-76 77-93 153-160 161-168 169-172 173-174	東京	1997
循環器疾患患者の看護	加藤光寶監		廣川書店	東京	1996
看護物語	長野勝監・著	総論, 評価	サンルート看護研修センター 全ページ	大阪	1996
看護観察のキーポイントシリーズ「高齢者」	宮崎和子監, 大竹登志子・水戸美津子編・著	1章 高齢者看護における観察の視点 2章 高齢者を理解するための基礎知識 1. 高齢者の現状 2. 加齢に伴う身体・生理的变化と観察 3. 加齢に伴う精神・心理的变化と観察 5. 加齢に伴う日常生活面の変化と観察 3章 様々な看護活動の場における観察 A-b 入院時の観察 A-c 検査時の観察 A-g 機能訓練時の観察 B 老人保健施設における看護活動と観察 D 在宅における看護活動と観察	中央法規出版 10-14 22-37 38-58 59-60 63-69 80-83 84-85 105-107 116-123 152-160	東京	1996

		4章 高齢者によくみられる疾患の理解 D-a 肺炎 E-b 骨粗鬆症	202-206 230-232		
青年心理学概論	加藤隆勝ほか編, 山本誠一ほか著	第6章 不安, 悩み, 孤独感	誠信書房 81-97	東京	1997

③ 学会発表

(本学教員は下線表示)

演 題 名	氏 名	発 表 学 会 名	発 表 年月日	発 表 地
A new method for the determination of antioxidants	<u>O. Sugita</u> et al.,	International of Congress of Clinical Chemistry	1996.7.9	U.K(ロンドン)
ヒト血漿(血清)抗酸化能の測定(第2報)	杉田収 <u>中野正春</u> ほか	第43回日本臨床病理学会	1996.11.15	浜 松 市
血液透析患者血清中のアルミニウム値	杉田収 <u>飯吉令枝</u> <u>佐々木美佐子</u>	第36回日本臨床化学学会	1996.10.25	甲 府 市
母子保健指導(保健婦基礎教育)における体験学習を効果的に実施するための条件分析	錦織正子 <u>佐々木美佐子</u> ほか	第55回日本公衆衛生学会	1996.11.1	豊 中 市
「保健婦基礎教育における母子保健教育内容モデル案」の提示	大野絢子 <u>佐々木美佐子</u> ほか	第55回日本公衆衛生学会	1996.11.1	豊 中 市
老人保健法訪問指導における援助内容の分析—新設された「在宅看護論」の教材作成の試み—	大野絢子 <u>佐々木美佐子</u> ほか	第1回在宅ケア学会	1997.1.18	東 京 都
神経束叢の複雑さの度合いはどのように表されるか	<u>関谷伸一</u> ほか	第101回日本解剖学会	1996.4.4	福 岡 市
基礎看護技術演習における体験学習の検討—患者役体験を中心に—	金子史代 <u>島村澄江</u> <u>渡邊典子</u> <u>桑野タイ子</u>	第6回日本看護学教育学会	1996.8.3	浜 松 市
コミュニケーション能力育成—学習者に興味あるビデオテープ・音声テープを使って—	<u>中村博生</u>	第36回語学ラボラトリー学会(LLA)	1996.7.31	八王子市
映画英語学習による音声変化の習得と評価	<u>中村博生</u>	第3回映画英語教育学会(ATEM)	1997.3.8	相模原市

デモンストレーション教授法の看護技術習得に及ぼす効果	松永保子 武田美津代ほか	第63回日本応用心理学会	1996.9.7	名古屋市
皮膚血流の研究(第2報)―体位変換による最大血流変動量ならびに安定血流量の変化―	松永保子ほか	第22回日本看護研究学会	1996.7.27	広島市
看護学生の自我同一性に関する研究―自我同一性の因子構造と影響因子―	森田敏子 松永保子ほか	第22回日本看護研究学会	1996.7.27	広島市
看護学生に対するコミュニケーションワークショップに関する研究(1)―プログラム内容の検討―	犬塚文雄 山田洋子ほか	第29回日本カウンセリング学会	1996.5.25	名古屋市
看護学生に対するコミュニケーションワークショップに関する研究(2)―効果測定 of 検討―	稲垣応顕 山田洋子ほか	第29回日本カウンセリング学会	1996.5.25	名古屋市
看護学生に対するコミュニケーションワークショップに関する研究(3)―持続効果 of 検討―	山田洋子 犬塚文雄ほか	第29回日本カウンセリング学会	1996.5.25	名古屋市
分娩時呼吸法に関する実態調査	村山陵子 渡邊典子 村山ヒサエ	第37回日本母性衛生学会	1996.10.4	仙台市
産婦の緊張緩和のための心がけの実態調査	村山陵子 渡邊典子 村山ヒサエ	第23回新潟母性衛生学会	1996.11.9	新潟市
分娩台の使用法ならびに産婦の下肢の苦痛に関する実態調査	渡邊典子 村山陵子 村山ヒサエ	第27回日本看護学会 (母性看護)	1996.11.8	新潟市
保健・医療・福祉の連携についての教育方法―関係職種 of 連携を必要とする事例 of 家庭訪問をとおして―	小林恵子	第55回日本公衆衛生学会	1996.10.31	豊中市
ケアマネジメントにおいて利用者の主体性をひきだす保健婦の役割の検討―利用者参加 of 処遇検討会を試みて―	平澤則子ほか	第27回日本看護学会 (地域看護)	1996.10.25	防府市
市町村保健事業の推進と保健所の支援―ヘルスプロモーション of 的枠組みを用いた保健事業 of 検討―	平澤則子ほか	第55回日本公衆衛生学会	1996.10.31	豊中市

多胎児の育児の実態と支援に関する検討	飯吉令枝 佐々木美佐子	第55回日本公衆衛生学会	1996.11.1	豊中市
小規模町村における母子保健の課題—乳幼児をもつ両親アンケートを実施して—	西脇京子 矢坂陽子ほか	第34回新潟県公衆衛生研究大会	1996.8.26	新潟市
山古志村の糖尿病教室における栄養指導について	古川素子 田中京子 平澤則子ほか	第43回日本栄養改善学会	1996.9.27	東京都

④ 総説

題 名	氏 名	雑 誌 名 ・ 巻 (号)	年
尿酸の臨床的意義	杉田収	新潟県臨床衛生検査技師会誌 36, 236-239	1996
血清アミロイドの測定法	杉田収ほか	検査と技術 25, 121-126	1997
先天性股関節臼蓋形成不全ならびに先天性股関節亜脱臼について	中野正春	治療学 31, 221	1997
看護物語からの学び 18	長野勝	心の看護(20), 67-75	1996
看護物語からの学び 19	長野勝	心の看護(21), 79-89	1996
看護物語からの学び 20	長野勝	心の看護(22), 50-59, 60-69	1996
便秘患者のアセスメントと援助の実際	金子史代	月刊ナーシング 16(7), 66-71	1996
自己および他者受容を向上させる体験学習—コミュニケーションワークショップの体験効果に関する一研究—	山田洋子ほか	看護教育 37(6), 439-444	1996
下痢患者のアセスメントと援助の実際	山田洋子	月刊ナーシング 16(7), 72-77	1996

(2) その他報告・随想など

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	掲 載 雑 誌 そ の 他	年
思春期保健教育の実践—性の価値観—	<u>村山ヒサエ</u>	家族と健康	1997
大卒ナースが臨床で専門性を発揮していくために—臨床スペシャリストを育てる環境—	<u>加藤光寶</u>	ナース専科 大学版	1996
快適住まい環境研究会報告第1報—自立応援をめざして—	<u>杉田収</u> <u>水戸美津子</u> <u>関谷伸一</u> <u>山際和子</u> <u>桑原洋子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 2, 115-119	1997

Letters to Editor. A new enzymatic method for the determination of inulin	<u>O. Sugita</u>	Ann. Clin. Biochem. 33, 265	1996
大学教育における地域看護・母子保健教育	大野絢子, <u>佐々木美佐子</u> ほか	厚生省心身障害研究市町村における母子保健事業の効果的実施に関する研究 平成8年度研究報告書	1997
保健所・市町村保健婦の母子保健事業に関する職場内教育の実態調査—卒後1-3年目の新任保健婦を中心に—	大野絢子, <u>佐々木美佐子</u> ほか	厚生省心身障害研究市町村における母子保健事業の効果的実施に関する研究 平成8年度研究報告書	1997
1996年版看護婦（士）国家試験問題・解答・解説	<u>水戸美津子</u>	日本看護協会出版会 12-13, 16-17, 22-23, 50-51, 54-55, 58-59, 84-85, 92-93	1996
アメリカ合衆国における看護大学教育 ミシガン州立大学看護学部における看護教育プログラム(3)学士課程カリキュラム・看護実務入門Ⅰ—日本における基礎看護学との比較—	石本傳江 <u>小林ミチ子</u> ほか	クリニカルファーマシー 12(47), 86-90	1996
アメリカ合衆国における看護大学教育 ミシガン州立大学看護学部における看護教育プログラム(4)学士課程カリキュラム・看護実務入門Ⅱ—看護技術演習の実際—	鈴木治代 <u>小林ミチ子</u> ほか	クリニカルファーマシー 12(48), 84-88	1996
A L T と日本人の新採用教師	<u>中村博生</u>	関東甲信越英語教育学会 創設20周年記念誌	1997
1996年版看護婦（士）国家試験問題・解答・解説	桑原洋子	日本看護協会出版会 56-57, 84-85	1996

(3) 講演及び研修会講師

題 名	氏 名	講 演 会 名	年 月 日	場 所
(平成8年度ファーストレベル「看護研究」) ・「看護研究」演習	桑野タイ子 加藤光寶 小野沢康子 田中キミ子 川崎佳代子 佐々木美佐子 長野勝 水戸美津子 金子史代 加藤光寶	平成8年度看護管理研修(ファーストレベル) 「看護研究」	1996.7.6, 8.3,8.31, 10.26,12.6, 12.14	長岡市 上越市
・臨床看護研究の意義と研究方法	小野沢康子		7.6	長岡市
・文献の活用について			7.6	

・臨床看護婦の研究的活動 の実際	田中キミ子		7.6	
(新潟県実習指導者養成講 習会)		新潟県福祉保健部実習 指導者養成講習会	1996.9.17- 11.5	新潟市
・実習指導の原理	桑野タイ子		10.25,10.29	
・実習指導の方法①②③④	加藤光寶		10.2,10.9, 10.17-18	
・看護教育課程(助産婦課 程)	川崎佳代子		10.23	
・実習指導の実際(成人)	小野沢康子		9.25	
・実習指導の実際(精神)	長野勝		10.3	
・実習指導の実際(老人)	水戸美津子		10.15	
・成人(精神)看護実習	長野勝		10.11-11.5	
・老人看護実習	水戸美津子			
・成人看護実習(急性期)	小林ミチ子			
・成人看護実習(慢性)	金子史代			
(新潟県看護協会ファース トレベル研修)				
・ロイ看護論	村山ヒサエ	新潟県看護協会看護管 理研修(ファーストレ ベル)研修	1996.6.22	長岡市
・ベナー看護論	加藤光寶			
・オレム看護論	田中キミ子			
新しい助産婦の歩み	村山ヒサエ	新潟県看護協会上越地 区研修会(助産婦職能)	1996.10.26	上越市
最近のお産事情	村山ヒサエ	上越市福祉環境部健康 づくり推進課研修会 (依頼助産婦)	1997.3.11	上越市
看護研究の進め方、まとめ 方	加藤光寶	新潟県立十日町病院看 護部研修	1996.5.18	十日町市
看護過程①②③	加藤光寶	犀潟病院看護部研修	1996.6.19 7.17,9.18	大潟町
臨床実習指導の実際	加藤光寶	新潟県保健福祉部	1996.7.15	新潟市
看護記録	加藤光寶	新潟県看護協会副看護 婦長研修	1996.7.30 7.31	新潟市
看護研究の基礎	加藤光寶	厚生連村上総合病院, 村上保健所,中条病院, 県立瀬波病院、県立坂 町病院看護部研修	1996.9.7	村上市
関わり技法	加藤光寶	新潟県立瀬波病院看護 部研修	1996.9.21 10.5	村上市
看護研究	加藤光寶	新潟県立十日町病院看 護部研修	1996.9.27	十日町市
看護研究	加藤光寶	新潟県立六日町病院看 護部研修	1996.10.12 10.19	六日町市

看護実践に生かせる看護診断を学ぶ	加藤光寶	新潟県立六日町病院看護部研修	1996.10.12 10.19	六日町市
職場の活性化・リーダーシップ	加藤光寶	新潟県看護協会看護婦長研修	1996.11.15	新潟市
楽しく積極的に実習できる臨床指導者になるために	加藤光寶	新潟県立加茂看護学校研修会	1996.12.18	加茂市
実践に活かせる看護記録	田中キミ子	国立佐渡療養所看護研修会	1996.9.12	真野町
生と性の自立の視点からーリプロダクティブ・ヘルス/ライツってなあに？ー	川崎佳代子	新潟県女性センター講座「女性学講座・21世紀を生きる」	1996.10.19	新潟市
快適な老後をめざして	杉田収	インターネットフェスティバル in 柿崎	1996.8.17	柿崎町
透析患者の検査データ	杉田収	県立中央病院腎友会総会	1997.3.30	上越市
シンポジウムみんなが共に生きる社会をめざして（コーディネーター）	杉田収	人にやさしいまちづくりシンポジウム	1997.3.28	上越市
看護研究の基礎知識	佐々木美佐子	新潟大学歯学部付属病院看護部研修会	1996.5.24	新潟市
看護研究のすすめ方	佐々木美佐子	新潟県立中央病院看護部研修会	1996.7.13	上越市
面接の技術ー理論と実際ー	佐々木美佐子	訪問看護婦養成講習会	1996.8.3	新潟市
面接の技術ー理論と実際ー	佐々木美佐子	訪問看護婦養成講習会	1996.8.8	長岡市
面接の技術ー理論と実際ー	佐々木美佐子	訪問看護婦養成講習会	1996.8.12	新潟市
地区活動の実際	佐々木美佐子	上越保健所新採用保健婦研修会	1996.9.18	上越市
調査研究の進め方	佐々木美佐子	厚生連長岡中央病院看護部教育研修会	1996.11.15	長岡市
地区活動における地区診断の必要性	佐々木美佐子	三条保健所管内保健従事者研修会	1996.12.3	三条市
調査研究ーアンケートのとり方まとめ方ー	佐々木美佐子	燕労災病院看護部研修会	1997.1.11	燕市
地域保健と学校保健の連携	佐々木美佐子	新潟大学教育学部特別別科養護教育実践研究	1997.1.17	新潟市
精神科看護と臨床実習指導のポイント	長野勝	県立療養所悠久荘院内看護部看護研修会	1996.3.14	長岡市
精神科看護活動のポイント	長野勝	県立療養所悠久荘院内看護部看護研修会	1996.7.16	長岡市

精神科看護のプロとして意欲的に取り組むには	長野勝	常心荘川室病院 院内看護部看護研修会	1996.10.15	上越市
病棟看護の活性化を目指して	長野勝	日本精神科看護技術協会新潟県支部宿泊研修会	1996.11.7-11.8	上越市
精神科看護の歩みと今後の課題	長野勝	松浜病院 院内看護部看護研修会	1996.12.20	新潟市
精神科看護のプロフェッショナルとは	長野勝	松浜病院 院内看護部看護研修会	1997.1.30	新潟市
精神科看護現場の看護改革の具体的手法	長野勝	松浜病院 院内看護部看護研修会	1997.2.28	新潟市
専門家としての看護を問う	長野勝	県立津川病院 院内看護部看護研修会	1997.2.28	津川町
臨床看護研究の実際－研究計画の立案・文献の活用－	水戸美津子	厚生連篠ノ井総合病院看護部看護研究会	1996.6.13	篠ノ井市
人間の理解-高齢者の心理-	水戸美津子	長岡高齢者大学	1996.8.29	長岡市
様々な症状への対応	水戸美津子	老人介護講習会	1996.10.8	上越市
臨床看護研究の実際－データ分析の方法－	水戸美津子	厚生連篠ノ井総合病院看護部看護研究会	1996.10.18	篠ノ井市
臨床看護研究の実際－研究のまとめ方、報告・論文の書き方－	水戸美津子	厚生連篠ノ井総合病院看護部看護研究会	1996.11.22	篠ノ井市
冬期間の家庭生活のポイント	水戸美津子	脳卒中後遺症患者の会	1996.11.28	上越市
家庭介護について	水戸美津子	女性Ｊトーク	1996.12.7	上越市
臨床看護研究のすすめ方	水戸美津子	厚生連頸南病院看護研究会	1997.2.28	新井市
臨床看護研究のすすめ方	水戸美津子	新潟県看護協会研修会	1997.3.1	新潟市
老人の理解・病気の発見	水戸美津子	ボランティア研修講座	1997.3.19	上越市
心の発達とその問題	山本誠一	上越市働く婦人の家主 催保育サービス講習会	1996.10.7	上越市
いじめ・不登校を考える	山本誠一	新潟県臨床心理士会主催 市民講座「子どもを考える」シンポジウム	1996.11.9	新潟市
身体の発育と病気・安全・事故	秋山啓子	保育サービス講習会	1996.10.14 10.21	上越市
英語特有の音声と音声変化の指導	中村博生	上越英語科教員研修会 (エコー会) 研修会	1996.11.30	上越市

介護概論	矢坂陽子	新潟県在宅介護マンパワー養成研修会	1996.10.1	糸魚川市
ケアマネジメントとは	矢坂陽子	高齢者在宅ケア研修会	1997.2.13	糸魚川市
事業推進と保健所の役割 —市町村保健活動への保健所の技術支援として—	平澤則子	新潟県看護協会 保健婦職能集会	1996.4.27	新潟市
訪問看護の特性の理解	平澤則子	平成8年度 訪問看護婦養成講習会	1996.5.7	長岡市
共感的理解と基本的態度の形成	平澤則子	ホームヘルパー3級課程研修会	1996.8.27	新潟市
サービス利用者の理解	平澤則子	新潟県在宅介護マンパワー養成研修会	1996.10.8	長岡市
大人への準備と心がまえ	渡邊典子	柏崎市立新通小学校 「幸せな一生をおくるため、性に関する指導」	1996.12.6	柏崎市
こんな時、どうする？	渡邊典子	働く親のための家庭教育講座(全6回コース)	1997.1.29	三条市

(4) 学会及び社会での活動

氏 名	事 項	就 任 年
桑野タイ子	日本看護研究学会評議員	1993～
杉田収	第14回日本臨床化学会甲信越支部総会・総会長 日本電気泳動学会評議員 日本自動化学会評議員 生物試料分析学会評議員 日本臨床病理学会評議員 日本臨床化学会評議員 日本臨床病理学会臨床化学専門部会世話人 日本臨床化学会甲信越支部長	1996.6.8-9 1975～ 1975～ 1991～ 1991～ 1992～ 1993～ 1997～
中野正春	新潟地域留学生等交流推進会議運営委員会委員	1996～
佐々木美佐子	社団法人新潟県看護協会看護管理研修企画委員	1993～
水戸美津子	関東教育学会幹事	1996～
山本誠一	新潟県臨床心理士会学校心理臨床委員会委員 新潟県カウンセラー学校派遣事業カウンセラー	1996～ 1996～
小林ミチ子	社団法人新潟県看護協会上越地区協会看護婦職能委員教育委員	1995～
中村博生	関東甲信越英語教育学会理事 国際教育交換会協議会（C I E E）新潟同好会研修幹事	1990～ 1988～

小林美代子	社団法人新潟県看護協会助産婦職能理事 第27回日本看護学会一母性看護一準備委員	1996～ 1996～
矢坂陽子	第27回日本看護学会一母性看護一準備委員	1995～
平澤則子	社団法人新潟県看護協会継続看護調査検討プロジェクト 委員 日本看護協会先駆的保健活動交流推進事業 海外調査研究小委員会委員	1995～ 1996～
渡邊典子	社団法人新潟県看護協会思春期電話相談員 社団法人新潟県看護協会エイズ電話相談員 社団法人新潟県看護協会思春期電話相談委員	1990～ 1994～ 1996～

(5) 科学研究費による研究

研究種目	研 究 課 題 名	本 学 研 究 者	研究代表者所属	期 間
厚生省心身 障害研究	市町村における母子保健事業 の効果的实施に関する研究	佐々木美佐子	国立公衆衛生院	平成5-8 年

(6) 教員海外研修

氏名	研 修 テ ー マ	研修地名	期 間
杉田収	第16回国際臨床化学会参加	英国(ロンドン)	1996.7.7-7.12
川崎佳代子	ICM: International Confederation of Midwives (国際助産連盟大会) 出席	ノルウェー(オ スロ)	1996.5.25-6.2
金子史代	米国ホスピス視察研修	米国(ワシント ンD.C. クリー ブランド)	1996.9.21-9.30

(7) 共同研究

(本学教員には下線表示)

題 名	研 究 者 名	*所属	研究開始年	期間
妊婦の循環器系に及ぼす呼 吸法の影響	村山ヒサエ, 村山陵子, <u>渡邊典子</u>		1996	1 年
化学発光法による飲料水中 の活性酸素様物質の測定	杉田収, <u>中野正春</u> , <u>関谷伸一</u> , *1佐藤一範, *2岡田正彦	*1新潟県立中 央病院 *2新大医検査 診断学	1995	3 年
在宅要介護者の看護ニーズ と在宅ケアサービスの効果 に関する研究	<u>佐々木美佐子</u> , <u>飯吉令枝</u> , <u>桑野タイ子</u> , <u>小野沢康子</u> , <u>水戸美津子</u> , <u>金子史代</u>		1995	2 年

末梢神経における神経束叢の3次元立体構築学第一講座	関谷伸一, *3熊木克治, *4関谷政雄, 中野正春	*3新大医解剖学第一講座 *4新潟県立中央病院病理検査科	1995	3年
高齢者のsexualityに関する研究	水戸美津子, 秋山啓子, 島村澄江, 渡邊典子, 桑原洋子		1996	2年
在宅ケアを支える住まい環境	水戸美津子, 杉田収, 関谷伸一, 桑原洋子, 山際和子		1996	2年

11 大学の公開

(1) 公開講座

本学は、広く県民に健康と看護に関する知識の普及と地域の看護関係者の資質の向上に寄与することを目的とし、一般県民を対象とした一般公開講座と看護に関する職業に従事する者を対象とした専門公開講座の2講座を実施した。

① 専門公開講座

- ・テーマ 「看護研究の基礎」

基礎的な看護研究のプロセスを体験し、看護現場における問題解決に役立てる。

- ・受講者 40人
- ・日程及び内容

日	時 間	内 容	講 師
7/19 (金)	9:00～ 9:30	開講式	教授 桑野タイ子 教授 加藤光寶 教授 小野沢康子
	9:30～10:20	講義「臨床看護研究」	
	10:30～12:00	講義「看護研究の方法」	
	13:00～16:00	演習「コンピュータ操作の基礎」 「統計学パッケージ HALBAUについて」	
7/20 (土)		〈グループワーク〉	8 グループ ・桑野教授 山際助手 ・加藤教授 武田助手 ・小野沢教授 渡邊（繁）助手
	9:00～12:00	演習「調査データの統計処理」	
7/21 (日)	13:00～16:00	演習「調査データの解析・作表」	・田中教授 宮越助手 ・川崎教授 石澤助手 ・佐々木助教授 大久保助手 ・長野助教授 桑原助手 ・水戸助教授 井口助手
		〈グループワーク〉	
	9:00～12:00	演習「調査データの考察」	
	13:00～14:00	演習「グループワークのまとめ」	
	14:00～15:30	グループワークの報告と討論	
	15:45～16:00	閉校式	

② 一般公開講座

- ・テーマ 青年期の不安と「私らしさ」
- ・講演 助教授 山本 誠一
- ・受講者 60人
- ・日程 平成8年11月23日（土）
- ・会場 新潟県立看護短期大学 第1合同講義室
- ・内容 (1) 青年期の諸不安について
(2) 個性化に伴う2つの不安について
(3) 一援助法としての「聴く」ということ
(4) 「聴く」ことの困難さ・危険性・限界を踏まえたうえでの「聴く」ことの大切さ

(2) 施設の開放

県立短期大学という公的な施設として「開かれた大学」を目指し、特に本学と関わりの深い看護関係団体に主に施設の開放を行った。

- ・新潟県看護協会 看護管理者研修会（ファーストレベル53人）

合同講義室・情報科学教室

平成8年8月3日（土）から平成8年12月6日（金）延べ6日間

12 学生自治会 《平成6年5月30日設立》

(1) 大学祭『桜桃祭』を開催 平成8年11月23日（土） 来校者約600人

- ・テーマ展示 「未来のあなたへ…快適な住まい体験」「水研究の発表」
「バイタル測定・看護ビデオ上映」「初産婦になられる方、新米パパへ」
- ・一般公開講座 「青年期の不安と私らしさ」
- ・ビデオシアター

(2) サークル活動

サークル名	参加者数	サークル名	参加者数
バ ト ミ ン ト ン	17	快適住まい環境研究会	6
バ レ ー ボ ー ル	28	N ・ C ネ ッ ト	9
水 研 究 会	18	ソ フ ト ボ ー ル	9
ボ ラ ン テ ィ ア	14	ミステリーサークル	6
E ・ T	7		

資 料

主要行事日誌

4月1日（月）	辞令交付…教員1名採用、事務職員2名転任
5日（金）	第3回入学式
8日（月）	前期授業開始
8日（月）	在学生ガイダンス、学生健康診断
9日（火）～10日（水）	入学生ガイダンス…学内及び国立妙高少年自然の家 で実施
17日（水）	定期監査（書記）
24日（水）	定期監査（委員）
5月8日（水）	開学記念日
10日（金）	第2回戴帽式
13日（月）～14日（火）	全国公立短期大学協会関東ブロック会議…横浜市で 開催 斎藤学長、斎藤課長出席
28日（火）～29日（水）	全国公立短期大学協会第46回通常総会 …盛岡市で開催 斎藤学長、大関事務局長出席
6月4日（火）	文部省実地調査
7月9日（火）、10日（水）	1年生食事介助実習
11日（木）	大学説明会…県内の高校40校参加
11日（木）～8月31日（土）	夏季休業
15日（月）～16日（火）	2年生保健体育（実技）集中授業…国立妙高少年自 然の家で実施
15日（月）～16日（火）	第24回全国公立短期大学協会医療看護系協議会… 前橋市で開催 斎藤学長、小野沢教授、田中教授出 席
19日（金）、20日（土）	専門公開講座
22日（月）	〃
9月17日（火）～27日（金）	前期試験
27日（金）、30日（月）	1年生解剖見学…新潟大学医学部で人体解剖見学
10月1日（火）	後期授業開始
1日（火）	消防計画に基づく総合訓練実施
14日（月）	全国公立短期大学協会平成8年度第2回学長会 …国立教育会館で開催 斎藤学長出席
11月11日（月）～15日（金）	看護学科推薦入試願書受付…応募者89人
15日（金）	年報第2号発行
15日（金）～16日（土）	学長、事務局長会議…県立新潟女子短期大学と開催
21日（木）	第3回大学運営懇談会

23日（土）	大学祭、一般公開講座
12月6日（金）、13日（金）	2年生調理実習（臨床栄養学）
20日（金）	〃
8日（日）	看護学科推薦入試……………受験者89人
13日（金）	〃 合格発表…合格者30人
21日（土）～1月10日（金）	冬季休業
1月16日（木）～22日（水）	専攻科推薦入試願書受付…応募者70人
17日（金）、24日（金）	2年生調理実習（臨床栄養学）
20日（月）～24日（金）	看護学科一般入試願書受付…応募者250人
30日（木）～2月10日（月）	後期試験
31日（金）	紀要第2号発行
2月2日（日）	専攻科推薦入試……………受験者67人
7日（金）	〃 合格発表……合格者29人
7日（金）～14日（金）	専攻科一般入試願書受付……応募者144人
10日（月）	2年生保健体育（実技）集中授業…国立妙高少年自然の家で実施
24日（月）	看護学科一般入試……………受験者199人
3月2日（日）	専攻科一般入試……………受験者127人
3日（月）	卒業判定会議
5日（水）	看護学科一般入試合格発表…合格者81人
7日（金）	専攻科一般入試合格発表……合格者32人
14日（金）	卒業式
18日（火）	進級判定会議
21日（金）～31日（月）	春季休業

教授会・委員会の活動

(1) 教授会の活動

- | | |
|---------------|---|
| 第1回 (8. 4. 1) | <ul style="list-style-type: none">・専攻科の設置について・各委員会の構成員の決定・進路指導実施要項について・学生委員会の所管事項について・成績簿の様式について |
| 第2回 (8. 5.13) | <ul style="list-style-type: none">・大学条例の改正について・教員審査委員会の設置について・進路プロジェクト構成員の指名・教員研究費・教材費の配分について・留年学生の履修科目について・奨学生の選考について・学生の休学、退学について |
| 第3回 (8. 6. 3) | <ul style="list-style-type: none">・専攻科設置に伴う教員審査委員会の設置について・教員海外派遣について・一般入試の日程及び試験会場について・学生募集要項について・大学説明会について・紀要執筆要項の改正について |
| 第4回 (8. 7. 1) | <ul style="list-style-type: none">・学則の改正について |
| 第5回 (8. 7. 8) | <ul style="list-style-type: none">・専攻科設置に伴う教員組織について・履歴書等の様式について |
| 第6回 (8. 9. 2) | <ul style="list-style-type: none">・学則の改正について・基礎看護実習の実施について・前期試験の時間割について・専攻科の学生募集概要について |
| 第7回 (8.10. 7) | <ul style="list-style-type: none">・教員審査委員会の設置について・大学規則の改正について・専攻科入試の実施方法等について |
| 第8回 (8.11.11) | <ul style="list-style-type: none">・教員審査委員会の設置について・学科長選考規定について・上越教育ネットワークへの参加について・学年歴について・専攻科学生募集要項について |

- 第9回 (8.12. 2) ・看護学科長候補者選挙管理委員会の設置について
- ・大学運営組織について
- 第10回 (8.12.12) ・看護学科推薦入試合格者の決定について
- ・教員審査委員会の設置について
- ・看護学科長候補者選挙管理委員会の設置について
- ・学生の休学について
- 第11回 (9. 1.13) ・職業紹介業務運営規定について
- ・教材費（保留分）の配分について
- ・後期試験の日程について
- ・学年歴の変更について
- 第12回 (9. 2. 3) ・看護学科長候補者の決定について
- ・看護学科の授業科目、授業概要の変更について
- ・ガイダンス、健康診断について
- 第13回 (9. 2. 6) ・専攻科推薦入試合格者の決定について
- 第14回 (9. 3. 3) ・卒業判定について
- ・看護学科の授業時間割について
- ・専攻科の授業時間割について
- ・紀要執筆要項の改正について
- 第15回 (9. 3. 4) ・看護学科一般入試合格者の決定について
- 第16回 (9. 3. 6) ・専攻科一般入試合格者の決定について
- 第17回 (9. 3.18) ・進級判定について
- ・教員審査会の設置について
- ・平成9年度各委員会・ディレクターの構成について
- ・学生の退学について

(2) 各委員会の活動

① 企画委員会

- 第1回 (8. 4.22) ・正副委員長の選出
- ・教員研究費の配分について
- ・教材費の配分について
- ・コンピューター部会の構成について
- ・看護学科長選考規定について
- 第2回 (8. 5.20) ・看護学科長選考規定について（継続）
- ・教員研究員海外派遣について
- ・公開講座について

- | | |
|----------------|--|
| 第3回 (8. 7. 8) | <ul style="list-style-type: none"> ・学則改正について ・9年度教育用備品及び共同研究の希望について |
| 第4回 (8. 9. 9) | <ul style="list-style-type: none"> ・看護学科長選考規定について ・9年度教育用備品及び共同研究の希望状況について ・一般公開講座について ・大学規則の改正について |
| 第5回 (8.10.14) | <ul style="list-style-type: none"> ・看護学科長選考規定について ・コンピューター関連整備予算要求について ・教員研究費の枠組み変更について ・上越教育ネットワークへの加入について |
| 第6回 (8.10.30) | <ul style="list-style-type: none"> ・看護学科長選考規定について ・大学運営組織について ・9年度当初予算要求について |
| 第7回 (8.11.18) | <ul style="list-style-type: none"> ・大学運営組織について (継続) ・職業紹介業務運営規定について ・第2会議室の改修について |
| 第8回 (8.12. 9) | <ul style="list-style-type: none"> ・職業紹介業務運営規定について (継続) ・教材費 (保留分) の配分について |
| 第9回 (9. 1.20) | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式について ・コンピューター委員会の設置について |
| 第10回 (9. 2.18) | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューター委員会の設置について (継続) ・全国生涯学習フェスティバルについて ・9年度各委員会・ディレクターについて ・看護短大のホームページについて |
| ② 教務委員会 | |
| 第1回 (8. 4. 1) | <ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長選出 |
| 第2回 (8. 4.22) | <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容検討、業務分担 ・留年生の履修 ・成績証明書の検討 |
| 第3回 (8. 5. 7) | <ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書について ・留年生の履修について ・履修届の届出状況について |
| 第4回 (8. 5.27) | <ul style="list-style-type: none"> ・2年生臨床実習配置表について ・2年生保健体育 (実技) 前期集中授業について ・国家試験模擬試験の監督について |

- | | |
|----------------|---|
| 第5回 (8. 6.10) | <ul style="list-style-type: none"> ・前期定期試験について ・委員会日程 |
| 第6回 (8. 7. 8) | <ul style="list-style-type: none"> ・前期定期試験時間割 ・追再試験受験申請書について |
| 第7回 (8. 9. 9) | <ul style="list-style-type: none"> ・9年度非常勤講師について ・共同研究授業検討 ・成績表について ・文部省説明会の復命 |
| 第8回 (8.10.14) | <ul style="list-style-type: none"> ・9年度時間割 ・前期試験結果 ・文部省指定規則の一部改正に伴う報告書 |
| 第9回 (8.11.11) | <ul style="list-style-type: none"> ・9年度学年歴 ・前期試験結果 ・9年度非常勤講師予定者 ・9年度時間割 ・調理実習について |
| 第10回 (8.12.16) | <ul style="list-style-type: none"> ・9年度学年歴 ・前期試験結果 ・9年度時間割 ・後期試験日程 ・保健体育（実技）後期集中授業について ・9年度学外実習 |
| 第11回 (9. 1.13) | <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目年次配当 ・後期試験日程 |
| 第12回 (9. 1.30) | <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目年次配当 ・9年度時間割 ・後期試験監督員 ・保健体育（実技）後期集中授業実施計画 ・今後のスケジュール |
| 第13回 (9. 2.27) | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業判定 ・9年度時間割 ・9年度非常勤講師 |
| 第14回 (9. 3.17) | <ul style="list-style-type: none"> ・進級判定 ・9年度非常勤講師 |

③ 学生委員会・学生指導会議

【学生委員会】

- | | |
|----------------|--|
| 第1回 (8. 4. 1) | ・ 委員長、副委員長の選出について
・ 新入生ガイダンスの実施計画の検討 |
| 第2回 (8. 4. 5) | ・ 委員長の選出について
・ 新入生ガイダンスの実施計画の検討
・ 奨学金の取扱いについて |
| 第3回 (8. 4.22) | ・ 保健室の管理について
・ 奨学金の手続きについて
・ サークル活動について
・ 学生委員会の定例化 |
| 第4回 (8. 5.13) | ・ 奨学生の選考について
・ 授業料の減免申請状況について
・ 学生の健康診断結果概況
・ 学生の事故防止について |
| 第5回 (8. 5.27) | ・ ガイダンスの反省
・ 食堂委員会の運営について |
| 第6回 (8. 6.24) | ・ ガイダンスに係るアンケート案の検討
・ 夏季休業中の生活指導について |
| 第7回 (8. 9.23) | ・ 大学祭についての学生委員会の関わりについて
・ ガイダンスに係るアンケート案の決定 |
| 第8回 (8.10.28) | ・ ガイダンスに係るアンケートの実施状況
・ 大学祭の計画概要について |
| 第9回 (8.11.25) | ・ 後期授業料の減免申請状況について
・ ガイダンスに係るアンケート結果について
・ 大学祭の総括 |
| 第10回 (8.12.16) | ・ 平成9年度ガイダンスについて |
| 第11回 (9. 1.27) | ・ 食堂委員会の検討結果について |
| 第12回 (9. 2.17) | ・ 平成9年度ガイダンスの実施詳細について
・ 奨学金等の取扱いについて |
| 第13回 (9. 3.19) | ・ 平成9年度ガイダンスの実施詳細について |

【学生指導会議】

- | | |
|---------------|--|
| 第1回 (8. 6. 3) | ・ 指導の方向性について |
| 第2回 (8. 7. 1) | ・ 学生指導会議の運営確認
・ 学生の動向について
・ 留年生の担任分担について |

- 第3回 (8.10. 7)
 - ・クラス役員について
 - ・学生の動向について
- 第4回 (9. 1.13)
 - ・留年生の担任分担について
 - ・学生の動向等について

④ 入試委員会

- 第1回 (8. 4. 3)
 - ・委員長、副委員長選出
 - ・入試スケジュール
 - ・入試全体草案
 - ・入試会場検討
- 第2回 (8. 4.22)
 - ・推薦、一般入試検討
 - ・大学説明会日程
 - ・入試実施委員会、出題者委員会について
- 第3回 (8. 5.20)
 - ・一般入試日検討
 - ・募集要項検討
- 第4回 (8. 6.24)
 - ・推薦、一般入試の日程表
 - ・学校案内パンフレットについて
 - ・大学説明会検討
- 第5回 (8. 7.11)
 - ・大学説明会実施
- 第6回 (8.10. 1)
 - ・推薦、一般入試細部日程の検討
 - ・推薦入試実施要領について
 - ・合格者発表方法
- 第7回 (8.10.29)
 - ・推薦入試実施要領検討
- 第8回 (8.11. 6)
 - ・推薦入試実施要領検討
 - ・入試実施委員会日程について
- 第9回 (8.11.18)
 - ・入試実施委員会開催
- 第10回 (8.12. 2)
 - ・推薦入試実施要領全体説明会
- 第11回 (8.12. 8)
 - ・推薦入試実施
- 第12回 (8.12.19)
 - ・推薦入試総括
 - ・一般入試実施要領検討
- 第13回 (9. 1.22)
 - ・一般入試実施要領検討
- 第14回 (9. 1.27)
 - ・入試実施委員会開催
- 第15回 (9. 1.29)
 - ・一般入試役割分担
- 第16回 (9. 2.17)
 - ・一般入試実施要領全体説明会
- 第17回 (9. 2.24)
 - ・一般入試実施

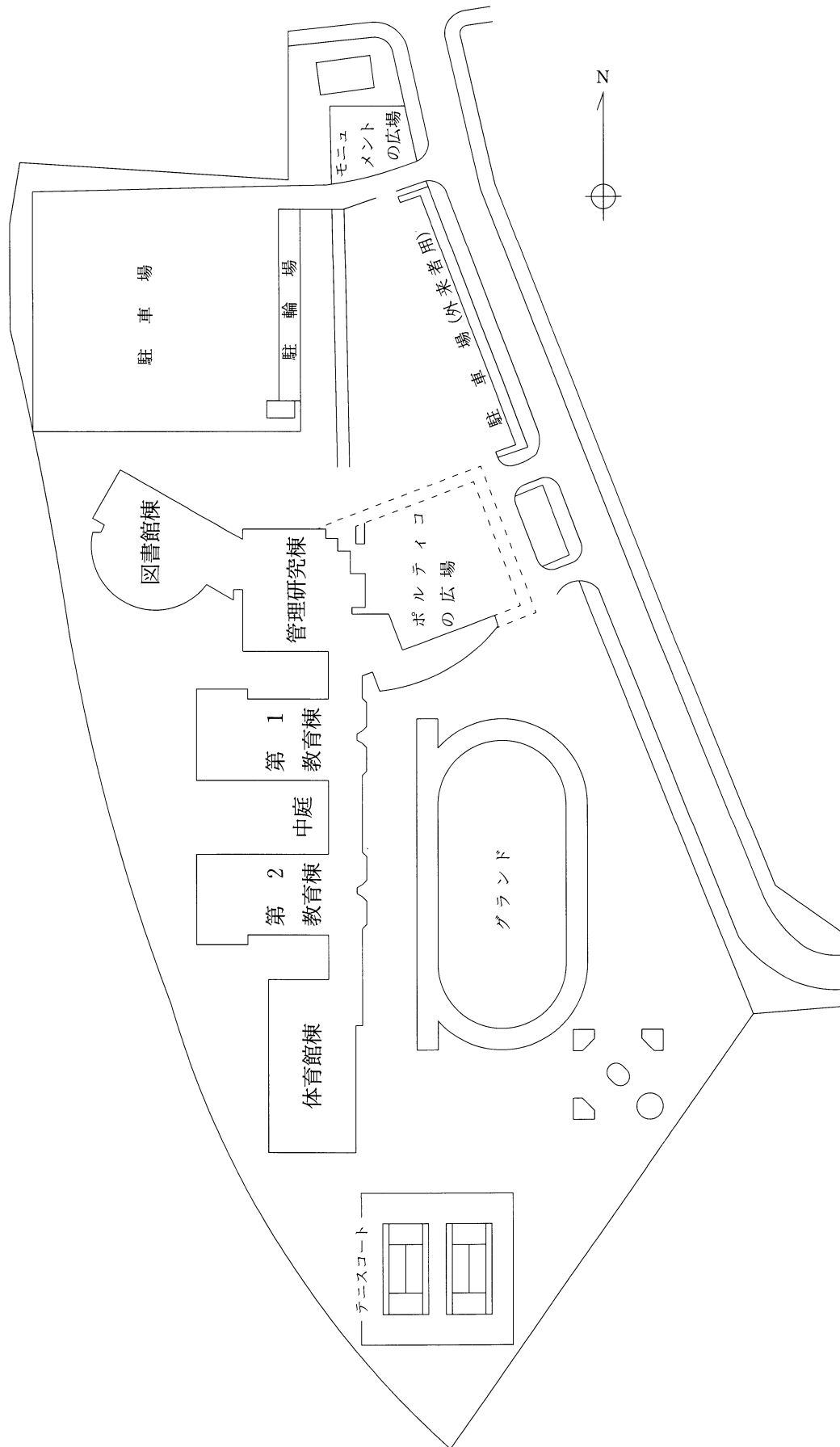
⑤ 図書委員会

- | | |
|---------------|--|
| 第1回 (8. 4. 1) | ・ 委員長、副委員長の選出について
・ 図書委員会の運営方針について |
| 第2回 (8. 5.27) | ・ 平成8年度図書館予算について
・ 購入希望調査について
・ 図書館の学内LANについて |
| 第3回 (8. 6.24) | ・ 購入希望図書の選定について
・ 夏季休業中の返却日の変更について
・ 蔵書点検について
・ CD-ROMデモについて |
| 第4回 (8.10.28) | ・ 購入図書の予算執行状況について
・ 蔵書点検結果について
・ 平成9年度図書館予算要求について
・ 返却滞納者の増加について
・ 専攻科図書購入について |
| 第5回 (9. 2.17) | ・ 平成8年度図書館予算の決算見込について
・ 公衆衛生看護学校の図書受入れについて |

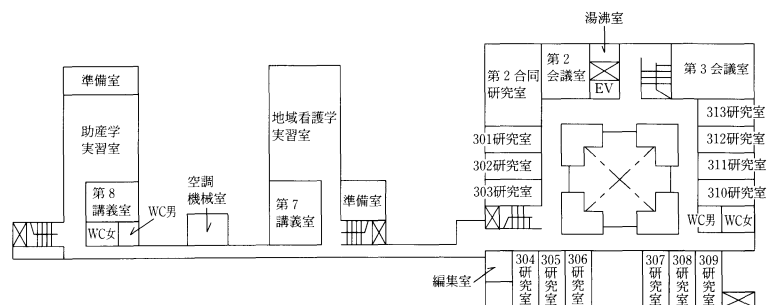
⑥ 紀要委員会

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 第1回 (8. 4.15) | ・ 委員長、副委員長選出 |
| 第2回 (8. 4.24) | ・ 紀要、年報作成について |
| 第3回 (8. 5.22) | ・ 紀要、年報作成について |
| 第4回 (8. 6. 5) | ・ 紀要、年報作成について |
| 第5回 (8. 7. 3) | ・ 紀要、年報作成進捗状況について |
| 第6回 (8.10. 2) | ・ 紀要投稿結果、年報今後の日程について |
| 第7回 (8.10.23) | ・ 紀要今後の日程、年報最終原稿チェック |
| 第8回 (8.12. 4) | ・ 紀要最終チェック、年報作成に当たっての反省点 |
| 第9回 (8.12.24) | ・ 紀要発注、紀要執筆要項の検討 |
| 第10回 (9. 2.13) | ・ 紀要執筆要項の検討、9年度紀要について |

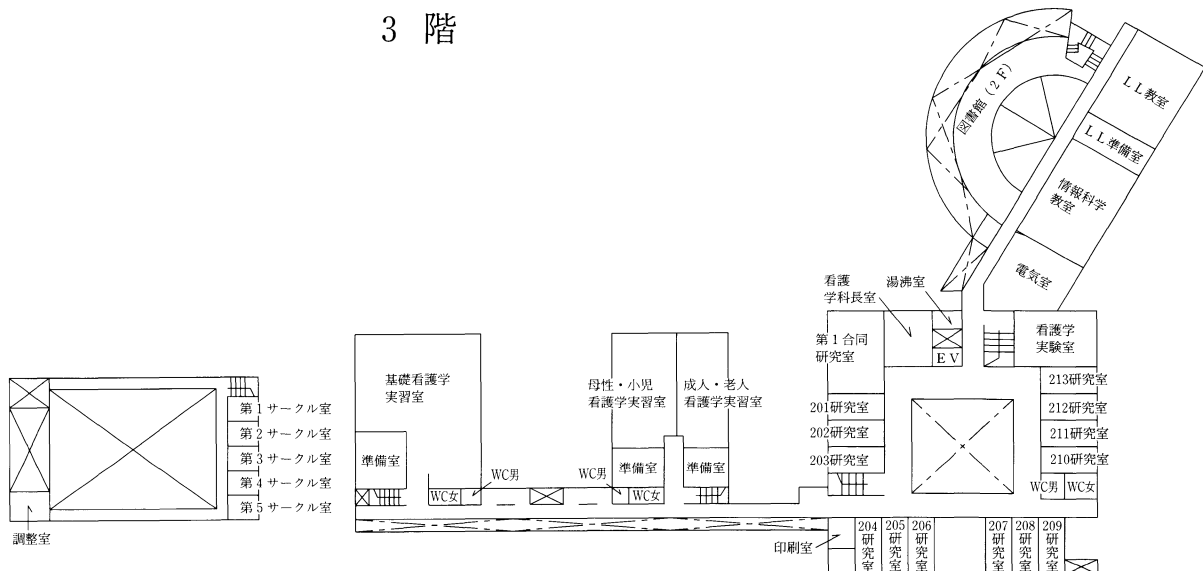
校舎配置図



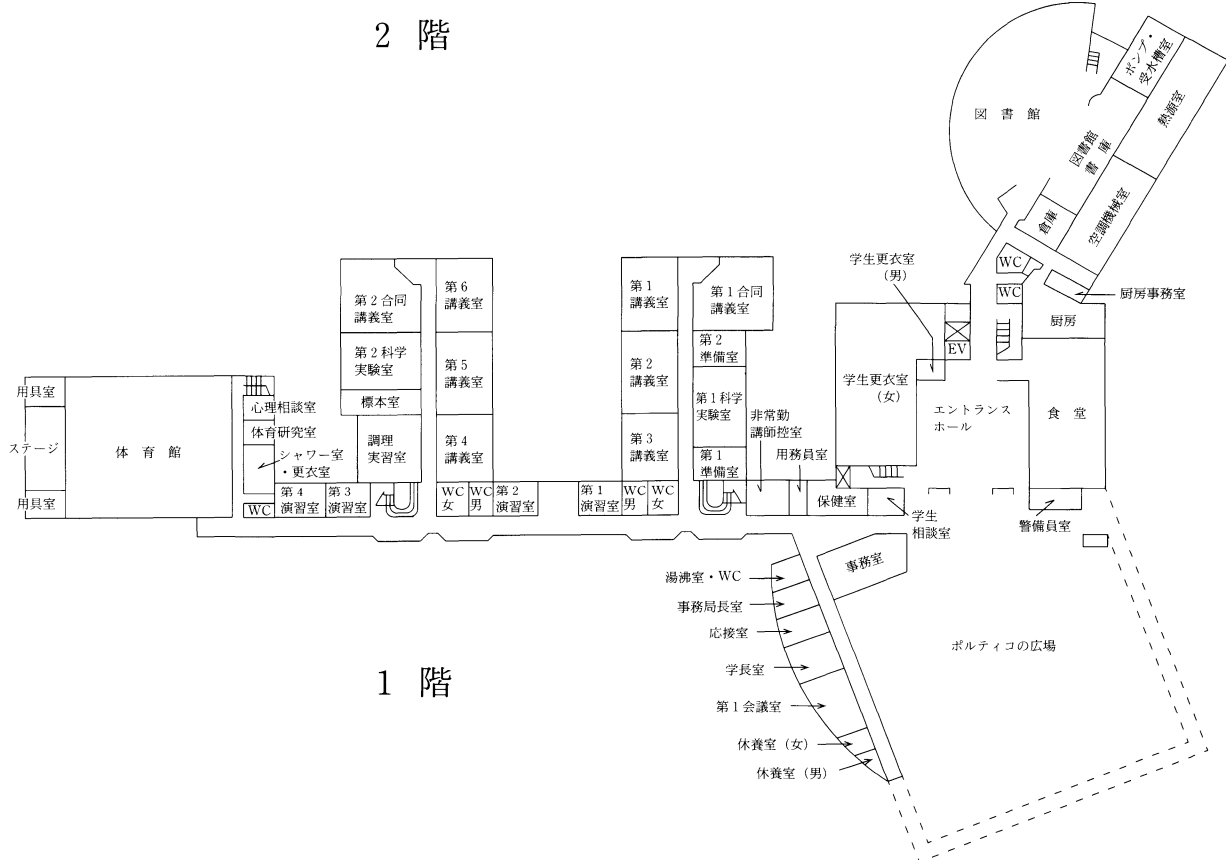
校舎平面図



3 階



2 階



1 階



新潟県立看護短期大学校歌

作詞 杉 みき子
作曲 後藤 丹

一 朝日にかがやく 妙高山が

生きてるよろこび 教えてくれた
風よ 並木よ みどりの広場
友と語れば 白衣の胸に
虹がうまれる われらの母校

二

この手のぬくもり もとめる人に
癒^いしと看^みとりの 思いをこめて
かがげるともしび 世界を照らす
その灯^ひをうけつぐ 白衣の胸に
あふれる愛こそ われらの誇り

三

ゆたかないのちを はぐくみながら
流れる関川 花咲く大地
歌よ こだまよ 羽ばたく鳥よ
あしたを抱いてる 白衣の胸に
かがやけ青春 われらの母校